



D.REPORT

第104期年次報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第104期連結会計年度（2019年4月1日から
2020年3月31日まで）における当社グループの事業の
概況をご報告申し上げます。

代表取締役
社長執行役員 億田 正則



当連結会計年度のわが国経済は、年度を通して個人消費は持ち直し、政府の各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調となっていたものの、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度末にかけて不確実性の高い状況が続きました。

住宅建設分野におきましては、新設住宅着工は、年度前半は持家及び分譲戸建が増加するなど、消費増税に伴う駆け込み需要が見られましたが、貸家が前年を下回る状況が続いたことに加え、年度後半にかけ、持家、分譲住宅についても前年比でマイナスに転じるなど、低調に推移しました。一方、公共・商業建築（非住宅建築）分野におきましては、建設業の人手不足が継続しましたが、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う関連工事などの増加もあり、底堅く推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは、2025年を見据えた長期ビジョン『GP25』の実現に向け、2019年度から中期経営計画『GP25 2nd Stage』をスタートさせ、「成長戦略の加速」と「経営基盤の強化」を軸に、事業活動を展開しております。その成長戦略として、海外市場における素材事業の拡大と、国内市場における公共・商業建築分野及び住宅リフォーム市場での事業拡大を推進しております。これら注力市場強化に向けた新たな取り組みとして、海外市

場では、6月に北米のLVLに関する製造会社「CIPA Lumber Co. Ltd.」（以下、CIPA社）及び「PACIFIC WOODTECH CORPORATION」（以下、PWT社）を子会社化しました。この新規連結により、LVLという新たな“商材”を加え、北米市場という新たな“商圏”に進出いたしました。公共・商業建築分野では、11月に無垢床材の製造、販売、工事を手掛ける「(株)テーオーフローリング」の株式を取得し、子会社化しました。これにより、無垢床材を新たに製品ラインアップに加えるとともに、文教施設を中心とした同分野に向けた材料販売と工事両面での対応力を強化しました。住宅リフォーム市場では、7月に東京都内を中心に幅広くリフォーム事業を展開する「(株)リフォームキュー」を子会社化しました。首都圏での材工受注体制を強化するとともに、同社の工事ノウハウを活用し、省施工製品などの開発を推進しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、次のとおりとなりました。

(連結業績)

(単位:百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額	増減率
売上高	182,962	202,481	19,518	10.7%
営業利益	5,733	8,384	2,651	46.3%
経常利益	6,838	9,108	2,270	33.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,402	5,447	1,045	23.7%

売上につきましては、前述の新規連結効果に加え、年度前半の消費増税を控えた好調な需要に対して、アライアンス関係にあるTOTO(株)、YKK AP(株)と連携した提案を強化するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大による原材料調達や生産面への影響が懸念される中におきましても、製品の安定供給に努めた結果、増収となりました。

利益につきましては、米中貿易摩擦に起因するアジアを中心としたMDFの市況悪化の影響や、物流費や原材料価格の上昇などによって利益を圧迫しましたが、合理化やコストダウン、一部製品の販売価格への転嫁を進めたことや注力市場強化に向けた子会社4社の新規連結などにより増益となりました。

<新型コロナウイルスの感染拡大への対応>

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、これまでに経験したことのないレベルで不確実性の高い状況となっております。国内では住宅建設分野の需要動向を左右する新設住宅着工戸数はもとより、各種建設工事の中断や中止等に伴い、当社が主力とする建築資材等に対しても、急激な需要の減少が見込まれます。また、米国の住宅着工が大幅に減少するなど、海外におきましても同様の影響が広がっております。

このような経営環境の中、当社ではこれらの影響を最小限にとどめるため、新型コロナウイルス対策本部(本部長:社長執行役員)による国内外を含めた全社一元的な管理体制を構築したうえで、金融市場の逼迫に備えたコミットメントラインなどを含む手元流動性の確保、生産能力の増強等を前提とする新規投資の全面的な見直し、現場での厳重な従業員の健康管理を前提とした生産活動の継続、ITを活用したテレワーク等による柔軟な働き方などの取

り組みを実践しております。しかしながら、当社におきましても、各国政府のロックダウン等の規制を受けて、海外生産工場の生産活動の一部が制限されるなど、直接的な影響が生じており、今後起こり得る様々な事象によって変化する需要動向や、建設工事の進捗等に大きく影響を受ける可能性があり、かつ、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期や需要回復の時期についての予測が困難な状況にあります。このような状況に対応するため、これまでの取り組みを継続するとともに、ITを活用したさらなる業務効率化の推進、費用の総点検・厳選、資産効率化の追求などの取り組みを進めてまいります。

<新設住宅着工減の影響を受けにくい経営体質への変革>

2019年10月の消費増税以降、日本国内の新設住宅着工は本格的な減少トレンドに向かうことが想定されます。これら縮小する国内住宅市場に対して、防音、耐震、調湿、抗菌などの機能性を軸とした空間提案を強化し、シェアアップを図るとともに、省施工を切り口に住宅リフォーム市場での拡大を図ってまいります。また、住宅用建材メーカーとして培ってきた安全性、耐久性、不燃性、快適な音環境の提供など公共施設や商業施設などで求められる機能を付与した製品シリーズの提案を強化し、非住宅の公共・商業建築分野での拡大を図ってまいります。さらに、海外市場では、これまでの中国、東南アジア、オセアニアなどに加え、2019年度から、M&Aにより本格展開を開始した世界最大の木造住宅市場である北米市場におけるマーケティングを強化することで、さらなる飛躍を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

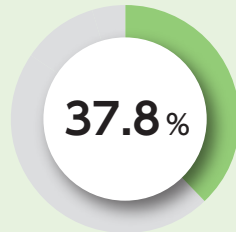
事業別の概況

..... 売上高構成比

..... 取扱商品

..... 業績の概要

素材事業



▲深彫調不燃壁材：「グラビオエッジ」



▲機械抄き和紙を原料とする畳おもて：「ダイケン健やかおもて」

売上高
765億89百万円
23.8%増 ↑

営業利益
25億3百万円
121.1%増 ↑

素材事業につきましては、ダイライトを基材とする深彫調不燃壁材「グラビオエッジ」の引き合いが増えていることから、5月に設備投資による生産能力の増強を実施しました。また、機械抄き和紙を原料とする当社畳おもての採用が拡大している宿泊施設や商業施設において、「和」をイメージした意匠性のニーズが高まっていることから、新デザインの積極投入により製品ラインアップの拡充を行い、提案力をさらに強化しました。

売上につきましては、アジアを中心とした海外需要の低迷によりMDFの販売に苦戦しましたが、上記畳おもての販売が好調に推移したことやCIPA社及びPWT社を連結の範囲に含めたことなどにより増収となりました。

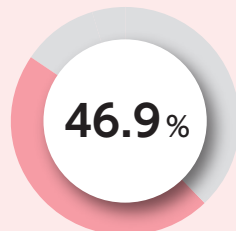
利益につきましては、MDF市場の競争激化によって利益を圧迫しましたが、合理化やコストダウン、コスト上昇の一部を販売価格へ転嫁したことや上記の新規連結などにより増益となりました。

(素材事業の業績)

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
売上高	61,843	76,589	14,745	23.8%
営業利益	1,132	2,503	1,371	121.1%

建材事業



▲床材：「トリニティ」



▲ドア：「おもいやりキッズドア」

売上高
949億38百万円
6.1%増 ↑

営業利益
49億55百万円
55.4%増 ↑

建材事業につきましては、生産能力増強などにより製品の安定供給に努めました。また、国内住宅市場においては、当社独自の技術で意匠性を高めたシート化粧床材「トリニティ」など、他社と差別化できる製品の販売に注力し、公共・商業建築分野におきましても、子どもの安全性に配慮した幼稚園・保育施設向け製品「おもいやりキッズドア」など、施設別に求められる機能を付与したドアなどの提案を強化しました。

売上につきましては、上記の取り組みなどが、床材やドア、音響製品など内装建材全般の販売増につながったことや「㈱テーオーフローリング」を連結の範囲に含めたことなどにより、増収となりました。

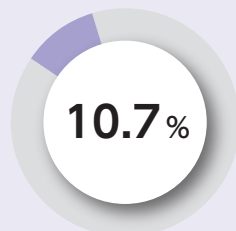
利益につきましては、売上高の増加に加え、合理化やコストダウン、物流費上昇の一部を販売価格へ転嫁するなど、利益の確保に努めた結果、増益となりました。

(建材事業の業績)

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
売上高	89,485	94,938	5,453	6.1%
営業利益	3,189	4,955	1,766	55.4%

エンジニアリング事業



▲天井：「ダイロートン」
(中之島フェスティバルタワー・ウエスト)



▲壁材：「グラビオ」 / 「オトピタ」
床材：「コミュニケーションタフ」
(中之島フェスティバルタワー・ウエスト)

売上高
217億13百万円
20.2%増 ↑

営業利益
6億13百万円
39.7%減 ↓

エンジニアリング事業につきましては、首都圏を中心としたビル・マンションの内装工事需要が好調の中、工事領域の拡大を進めたことや「㈱リフォームキュー」及び「㈱テーオーフローリング」を連結の範囲に含めたことなどにより、増収となりました。

利益につきましては、上記の新規連結による利益増はあったものの、技能工不足等による労務費の高騰などにより利益率が低下し、減益となりました。

(エンジニアリング事業の業績)

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
売上高	18,063	21,713	3,649	20.2%
営業利益	1,015	613	△402	△39.7%

※上記の他、その他の事業が4.6%あります。

三重工場に「化粧シート床材ラミネート設備」を増設

ラミネート生産能力を約2倍に増強

当社は、主力製品の1つである床材を生産する三重工場（三重県津市）において、約5億円を投資して「化粧シート床材ラミネート設備」を増設し、2019年12月より稼働を開始しました。

近年、化粧シート床材市場は急速に成長しており、今後、この分野における企業間競争も激しさを増すことが想定されることから、新設備の導入を決定しました。増設した生産ラインは、床基材表面に化粧シートを連続で貼り付けるラミネート設備で、三重工場の既存設備と比較してラインスピードは約20%向上。既存の設備と合わせて、工場全体のラミネート生産能力を約2倍へと増強しました。

今後、三重工場では、生産体制の最適化を図るとともに、さらなる受注拡大に向けて、お客様の多様なニーズに対応した製品開発に取り組んでまいります。



▲新設備導入のため増築された三重工場 久居製造課 第2工場

(株)テーオーフローリングを子会社化

無垢材製品ラインアップでフローリング事業を強化

当社は、2019年11月1日、(株)テーオーホールディングスの100%出資会社で、フローリング事業を展開する(株)テーオーフローリングの株式50%を取得し、子会社化しました。

当社は、公共・商業建築分野を重点市場と位置づけ、新たな取り組みを推進しており、同社子会社化もその一環として実施。新たな経営体制のもと(株)テーオーフローリングは、夕張工場で製造する無垢・厚単板フローリングを、主に公共・商業建築分野に向けて提案し、材料販売・工事受注の拡大を図ってまいります。

当社の強みである強固な販売網や効率的な生産管理のノウハウと、(株)テーオーホールディングスの強みである無垢材フローリングに関する広い知見や優れた技術を融合させることで、フローリング事業の基盤強化を目指してまいります。



▲無垢・厚単板フローリングを製造する(株)テーオーフローリング夕張工場

2019年8月21日発売

不燃内装建材「グラビオルーバーUB」を新発売

軽量で加工性に優れた木目柄不燃ルーバーで公共・商業施設のニーズにお応え

軽量でありながら、高い不燃性・加工性を兼ね備えた木目柄内装用不燃ルーバー「グラビオルーバーUB」を発売しました。

近年、公共施設や商業施設において、デザイン性を高めることを目的に、木目柄の内装用不燃ルーバーを天井などに採用するケースが増えていますが、これまで一般的に使われていた製品については、定期的なメンテナンスが必要であったり、切断に専用の工具が必要となるなど施工性に課題がありました。そこで、これら課題を解決するため、「グラビオルーバーUB」の表面仕上げにはコート紙を採用し、定期的なメンテナンスを不要としました。さらに、基材に軽量で加工性に優れたダイライトを使用することで、ノコギリで簡単に切断できるなど、施工の省力化も実現しました。



▲「グラビオルーバーUB」を用いた空間イメージ

2019年8月21日発売

主力の住宅用内装建材「ハピア」シリーズにソリッド調を追加

独特の素材感・質感で、次代をリードする上質空間をご提案

当社主力の住宅用内装建材「ハピア」シリーズに、硬質な風合いをイメージした非木目柄「ハピア ソリッド調」をラインアップに加えました。

住宅の内装デザインに求めるニーズが多様化し、インテリアに強いこだわりを持つユーザーが増える中、2018年6月に「ハピア」シリーズの全面リニューアルを実施し、業界最多クラスとなるデザインバリエーションを取り揃えるなど、訴求力の向上を図りました。そして今回、さらなるラインアップ拡充の一環として、従来の木目柄とは異なる新しい素材感を表現した漆喰調、コンクリート調、鉄板調の3柄を追加。次のトレンドを先取りした、異素材調の組み合わせによる新しいインテリアテイストを実現することで、様々なお客様のご要望を叶える空間作りに貢献してまいります。



▲「ハピア ソリッド調」を用いた空間イメージ

連結財務諸表

● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2019年3月31日現在	当連結会計年度 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	91,553	87,934
固定資産	68,528	82,612
有形固定資産	41,321	51,426
無形固定資産	6,375	14,834
投資その他の資産	20,831	16,351
繰延資産	75	91
資産合計	160,158	170,638

科目	前連結会計年度 2019年3月31日現在	当連結会計年度 2020年3月31日現在
負債の部		
流動負債	71,938	77,575
固定負債	26,478	30,087
負債合計	98,416	107,662
純資産の部		
株主資本	53,460	57,059
その他の包括利益累計額	5,444	△1,281
非支配株主持分	2,837	7,197
純資産合計	61,741	62,975
負債純資産合計	160,158	170,638

● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	182,962	202,481
売上原価	139,289	151,442
売上総利益	43,673	51,038
販売費及び一般管理費	37,940	42,653
営業利益	5,733	8,384
営業外収益	1,506	1,380
営業外費用	401	656
経常利益	6,838	9,108
特別利益	1,149	549
特別損失	686	786
税金等調整前当期純利益	7,301	8,871
法人税等合計	2,703	2,359
当期純利益	4,597	6,512
非支配株主に帰属する当期純利益	195	1,064
親会社株主に帰属する当期純利益	4,402	5,447

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	10,052	16,807
投資活動による キャッシュ・フロー	△15,079	△17,863
財務活動による キャッシュ・フロー	11,165	1,468
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△40	△438
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	6,097	△26
現金及び現金同等物の 期首残高	10,767	16,865
現金及び現金同等物の 期末残高	16,865	16,839

● 連結業績の推移

売上高 (単位:百万円)



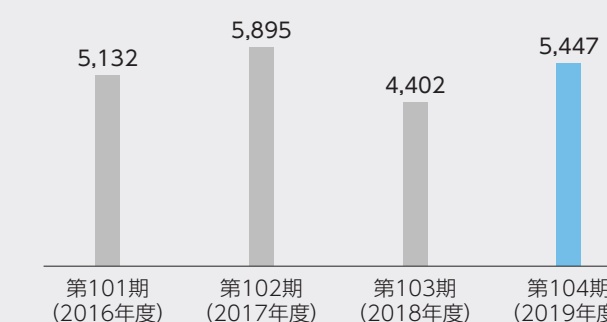
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



(注) 第102期に在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法を変更し遡及修正を行ったため、第101期は遡及修正後の数値を記載しております。

会社データ

●会社の概要

(2020年6月26日現在)

設立年月日	1945年9月26日
資本金	153億円
本社及び事業所	本社大阪事務所 大阪市北区中之島三丁目2番4号 東京事務所 東京都千代田区外神田三丁目12番8号
支店	北海道(札幌市)、東北(仙台市)、首都圏第一(東京都千代田区)、首都圏第二(さいたま市)、首都圏住設(東京都千代田区)、信越(新潟市)、中京(名古屋市)、北陸(金沢市)、近畿(大阪市)、中国(広島市)、四国(高松市)、九州(福岡市)、シンガポール
工場	三重工場(三重県津市)、井波工場(富山県南砺市)、岡山工場(岡山市南区)、高萩工場(茨城県高萩市)
子会社(国内)	株式会社ダイフィット(鳥取県倉吉市) 株式会社ダイウッド(三重県伊賀市) セトウチ化工株式会社(岡山市南区) 富山住機株式会社(富山県砺波市) 株式会社テーオーフローリング(東京都練馬区) 株式会社ダイタック(岡山市南区) 会津大建加工株式会社(福島県会津若松市) 日南大建株式会社(鳥取県日野郡日南町) C&H株式会社(大阪府岸和田市) エコテクノ株式会社(東京都千代田区) ダイケンエンジニアリング株式会社(大阪市北区) 鉱工業株式会社(東京都千代田区) 三恵株式会社(大阪府東大阪市) ダイケンホーム&サービス株式会社(大阪市北区) 株式会社スマイルアップ(大阪市北区) 株式会社リフォームキュー(東京都品川区) 株式会社パックシステム(東京都品川区)
子会社(海外)	大建工業(寧波)有限公司(中国) 大建阿美呢体(上海)商貿有限公司(中国) PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA(インドネシア) DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED(ニュージーランド) DAIKEN SOUTHLAND LIMITED(ニュージーランド) DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.(マレーシア) DAIKEN MIRI SDN.BHD.(マレーシア) CIPA Lumber Co.Ltd.(カナダ) PACIFIC WOODTECH CORPORATION(米国)

●役員

(2020年6月26日現在)

取締役			
代表取締役	億田正則	代表取締役	相原隆明
代表取締役	加藤智明	代表取締役	播磨哲男
取締役	関野博司	取締役	水野浩児
社外取締役	水野浩	社外取締役	古部清吾
社外取締役	石崎信		

監査役			
常勤監査役	照冬尚志	常勤監査役	林敏裕
社外監査役	勝尾子潔	社外監査役	向原

執行役員			
社長執行役員	億田正則	専務執行役員	相原隆明
専務執行役員	加藤智明	専務執行役員	播磨哲男
専務執行役員	吉田和雅	常務執行役員	野村孝伸
常務執行役員	飯沼友明	常務執行役員	早瀬幸敏
上席執行役員	永田武英	上席執行役員	伊藤雅保
上席執行役員	松川健一	上席執行役員	内海彦
執行役員	東出雅	執行役員	伊勢田正児
執行役員	西脇賢治	執行役員	金山正樹
執行役員	山崎弘樹	執行役員	郷原秀樹
執行役員	森野久稔	執行役員	遠藤久稔
執行役員	清宮基	執行役員	上田浩二

株式データ

●株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	79,643,600株
発行済株式の総数	27,080,043株
株主数	4,055名

●大株主の状況

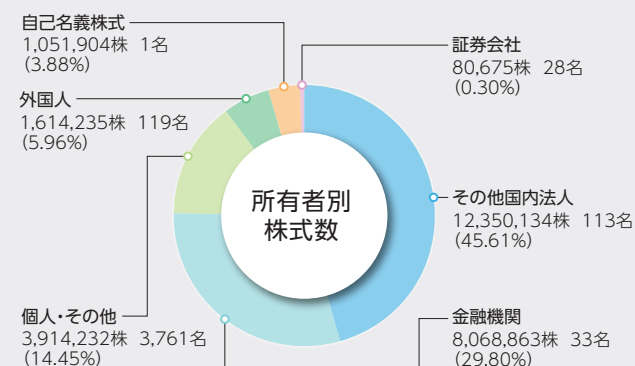
(2020年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	9,103,100	35.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,031,000	4.0
株式会社三井住友銀行	986,980	3.8
住友生命保険相互会社	931,200	3.6
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	896,500	3.4
大建工業取引先持株会	790,100	3.0
三井住友信託銀行株式会社	688,000	2.6
住友林業株式会社	638,200	2.5
丸紅株式会社	564,388	2.2
大建工業従業員持株会	551,864	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式を1,051,904株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式分布状況

(2020年3月31日現在)



当社のホームページでも
詳しい情報を開示しております。

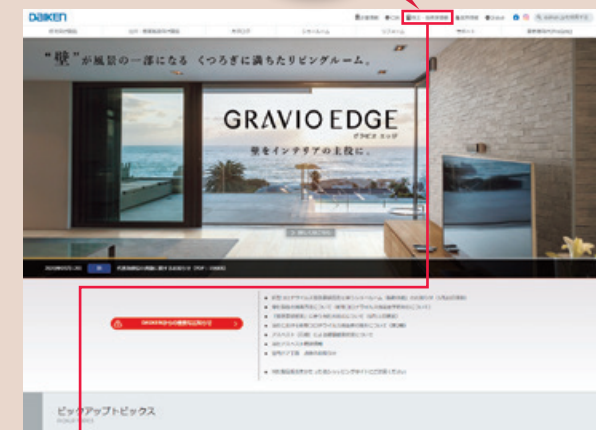


<https://www.daiken.jp/>

大建工業 検索



TOPページ
「株主・投資家情報」を
クリックしてください。



情報サイト
の一部

「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、招集通知などのIRイベント情報など、豊富なデータがご覧いただけます。



株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月開催
- 基準日** 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先)** 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** ☎ 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
- (インターネットホームページURL)** <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- (よくあるご質問(FAQ))** https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する)
<<https://www.daiken.jp/>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設してあります。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

表紙写真について



① 公共施設(体験学習施設)に採用された土足対応WPC床材「コミュニケーションタフ DW」<香取市産杉>

②

② 内装建材「リビングドア ハピア ソリッド調」<コンクリートグレー>



③ 公共施設(博物館)に採用された土足対応WPC床材「コミュニケーションタフ DW」<ハードメープル>



④ システム収納「ミセル」薄型フロートタイプのTVボードプラン



⑤ 宿泊施設に採用された「健やかおもて 穂波」

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

UD FONT